



「さっぽろっ子環境ウィーク」における SDGsアクション

宣 言

「環境問題を知り、考え、一歩踏み出そう」

子どもたちへの着実な環境教育の推進を目指し、環境保全・再生に関わる栽培活動や省エネ・省資源・再利用の取組を重視し、環境に配慮した責任ある行動ができる実践力の育成に努めていきます。

SDG s アクション

「守ろう私たちの地域・札幌」

- 各児童委員会による呼び掛け
お花を育て、美しい環境のための働きかけ～花いっぱい活動…環境委員会
「完食週間～食品ロスを防ごう」…給食委員会
残食チェックから実態把握をし、無理なくおいしく給食の残量を減らす取組を計画、実行する。
- 3学年総合「もいわクリーン大作戦」
家庭や学校職員への実態調査やごみ拾い活動を通し、自分たちが住む街の環境に対する意識を高める。
- 5学年総合「考えよう わたしたちの未来」
札幌市の抱える問題（野生動物や災害、環境問題など）を調べまとめ交流することで自分のできることを見付け、実行する力を付ける。



成 果

- 環境委員会の児童たちが、ポスターを作って、全校児童に対して綺麗な環境づくりを呼び掛けたり、学校前の花の水やりを通して、植物愛護の精神を育てたりすることができました。
- 給食委員の児童たちが、食品ロスを考えることで、環境にも悪い影響を与えることを知ることができました。
- 「もいわクリーン大作戦」では、地域にはたくさんのごみが捨てられていて、そのままにしておく最終的には海に流れ込んで、環境を悪化させることを知りました。また、家庭や学校のごみがどのように処理されているのか調べていくうちに、ごみを燃やすとCO2の排出量が増え、地球温暖化につながることも分かりました。ごみを減らしていくために「これから自分にできること」を考えることができました。
- 「考えよう わたしたちの未来」では、札幌市のよさと同時に課題にも目を向け、実際にどんな問題が起きているのかをスライドにまとめたり、市の取組や自分たちにできることを紹介し合ったりすることができました。また、ヒグマ講習を通して、ヒグマの生態や出遭わないためにどうすればよいのかを具体的に知ることができました。